

非営利組織のための 「第三者組織評価」制度 説明会のご案内（福岡会場）

海外では、第三者による非営利組織の組織評価が行われており、結果は社会へ向け公開され、組織の情報公開へとつながり、人々の支援や協力の際の選択ツールになっています。国内でも、休眠預金活用法の成立や、資金を地域に流すコミュニティ財団の設立など、ソーシャルセクターの資金循環に関わる環境の大きな変化を迎え、組織の信頼性を向上させる取り組みの重要度が高まったと言えるでしょう。

非営利組織評価センターがご提供する組織評価は、評価の客観性を担保する「第三者評価」と、これに先立ち取り組んでいただく「自己評価」により構成されています。この度開催いたします説明会では、自己評価をご体験いただきつつ、組織評価の意義や手続きの詳細などをご案内いたします。

組織評価にご関心をお持ちの関係者の皆様、評価お申込みをご検討中の団体の皆様、ぜひご参加ください。

< 内容 >

1. あなたの団体は大丈夫？ 団体・組織の健康診断

理事として何をすればいいかいまひとつ分からない。監事の役割について知りたい。

NPO の役員ってどんなことに気をつけたらいいの？

組織の健全な運営には意思決定の透明さや風通しの良さ、公正さが必要です。

ご自身の組織がどんな状況なのかを見直すきっかけをご提供します。

講師：平尾 剛之



（一般財団法人非営利組織評価センター理事、特定非営利活動法人きょうと NPO センター常務理事・統括責任者）

< 評価研究・社会活動略歴 > 2002 年「第三者評価事業きょうと」研究会を発足し、初代事務局代表・委員に就任。京都でさまざまな機関・大学等と連携した評価・研究活動を経て、現在、京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事及び幹事長を兼任。

介護・福祉サービス全種別（障害・保育・児童分野）及び全国の社会的養護関係施設評価調査者として、また、CSO 等非営利組織の評価・組織診断及びコンサル等を専門領域として活動している。その他、大学や研修会での講演活動及び日本評価学会・経営診断学会・非営利法人研究学会において研究発表を行っている。全国の非営利組織を対象とした評価制度を担う法人の設立に従事し、2016

年 4 月 1 日に一般財団法人非営利組織評価センター(JCNE)を設立し理事に就任。<https://jcne.or.jp/>

2. ミニワーク「自己評価シートを使って団体の自己評価を体験」

「自己評価」は、あらためて組織運営の整備に取り組むきっかけともなり、組織基盤強化の一助となります。

日 時： 2018年1月9日（水）19:00～21:00（開場：18:30 より）

会場：フラウコミュニティルーム 〒810-0041 福岡市中央区大名 2 丁目 11-22 若林ビル 2F

参加費：無料 / 定員：30 名 (Coco 壱番のあるビルの 2 階です)

対 象：NPO 法人・一般社団法人・一般財団法人の関係者、行政・NPO センター・中間支援組織など NPO

支援に携わっている方、企業
CSR 関係者、プロボノ等

第三者評価を受けていただける団体は NPO 法人（認定・特例認定含む）
と非営利型の一般社団・財団法人です。

お申込み：



ホームページ申込フォーム

（左の QR コードより）、もしくは下記、メール、FAX 等にてお願いいたします。

一般社団法人 SINKa（福岡市中央区大名 2-11-22）e-mail：info@sinkweb.net

FAX：092-762-3788 TEL092-762-3789 HP：<http://www.sinkweb.net/>

主 催：一般社団法人 SINKa 共 催：一般財団法人非営利組織評価センター

「第三者組織評価」を、 今年度は無料でご提供しています！

評価を受けていただける団体は、NPO 法人（認定・特例認定を含む）と、
非営利型の一般社団・財団法人です。

「自己評価」と「第三者評価」により、組織運営を体系的に評価します。

JCNE がご提供する「組織評価」では、基礎的な組織状態の達成程度を、まず「自己評価」でご確認いただき、その結果と添付いただく必要書類をもとに「第三者評価」を行います。

現在ご提供している「基礎評価」では5つの分野について評価を行い、法令に準拠した10項目と、法令にはない独自の基準で定めた13項目とを合わせた23項目で構成されています。

【評価項目例】 各項目に「はい／いいえ」でお答えいただき、その証明となる書類等をご提出いただきます。

分野	項目の例
組織の目的と事業の実施	各事業の定期的な振り返りや見直しをしている
ガバナンス	役員会および社員総会（評議員会）の議事録を定款および法令に基づいて作成している
コンプライアンス	個人情報保護に関する規程を定め、取得目的を明示している
情報公開	事業計画をウェブサイトで公開している
事務局運営	法定保存文書の保存をしている

評価に取り組むメリット

①組織改善に役立つ

第三者評価を受けることで、自己評価をした結果と第三者的に見た評価とのギャップを認識することができます。さらに JCNE の評価者から専門家としての改善コメントを提供します。

②信頼性のアピールができる

自らアピールしにくい、団体の組織運営について、積極的に第三者組織評価を受けたということで、対外的に信頼度をアピールする素材として活用することができます。

非営利組織評価センターの WEB サイトでは、評価結果情報を団体様ごとのページとして公開します。このページを、団体 WEB サイトや SNS でご紹介いただくことができます。

評価を受けられた団体の方から いただいたコメント

- ・組織基盤を強化していく「チャンス」だと思い評価を受けました
- ・NPO は誰かの想いで生まれ、みんなに支えられていると思っています。だからこそ、評価を受け「信頼」を高めるのは大切なことだと感じました
- ・評価に挑戦したことで、一つ一つの日々の業務の積み重ねが評価の結果へ繋がったと感じた

「組織評価」にご関心をお持ちいただいた方は、非営利組織評価センターのウェブサイトの「評価の申込み」ページ（<https://jcne.or.jp/catalog/>）より「非営利組織のための第三者組織評価ガイド」をダウンロードしてご検討ください。

「第三者組織評価」提供：一般財団法人 非営利組織評価センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2-3F

ウェブサイト：jcne.or.jp Facebook：www.facebook.com/npoeval/